



小倉 健一 議員

質問方式
一問一答

東京2020大会時期
を見据えたSANO
活性化について

Q 佐野市が見つめる東京2020大会について、大会時期に向けたインバウンド事業の推進や訪日外国人に対する取り組みと期待される効果を伺いたい。

A 観光スポーツ部長

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年は、訪日外国人が4,000万人に上るといふ国の予想があります。

現在、本市ではクリケットによるまちづくりを推進していますが、他市町村との差別化を図り、ムスリムに特化したインバウンドを推進しています。

今後ますます増加する訪日ムスリムに向けて、安心して食べられる食事やお祈りできる場所の提供とその情報発信を強化することにより、2020年において本市を訪れる外国人数の増加が期待されます。

その他の質問
☆市民プールについて
☆クリケットタウン
佐野について



▲ クリケットフェスティバルの様子



鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)

質問方式
一問一答

生活保護について

Q 被保護世帯数は平成30年4月現在、962世帯である。本当に保護が必要である人の中で実際に利用できる人の割合を示す捕捉率というのがある。このような人がどのくらいいるのかを知ることがまず先であると考えますが、佐野市はこの生活保護の捕捉率について調査を実施する考えはあるのか。

A こども福祉部長

平成22年4月における厚生労働省の国民生活基礎調査による推計で捕捉率は32.1%でしたが、総務省の全国消費実態調査による推計で捕捉率は68.4%と数値に大きな開きがあります。要因として住宅ローンがある世帯を厚生労働省では生活保護基準以下世帯に含め、総務省では除外していることなどがあります。

調査方法の確立がされていないこともあり、本市では、今のところ調査をする予定はありません。

その他の質問
☆市有施設適正配置
計画について
☆原子力災害にお
ける水戸市民の避難
受け入れについて



高橋 功 議員(蒼生会)

質問方式
一問一答

持続可能な市有施設と
まちづくりについて

Q 市有施設適正配置計画の推進については、担当者の努力だけでは非常に困難も想定される。中でも、推進体制の整備は、市長の積極的な姿勢が必要であり、重要と思うが、認識を伺いたい。

A 市長

市有施設適正配置計画については、施設の統廃合を行い、市が所有する施設の総床面積を今後30年で25%縮減し、適正な施設配置に取り組み計画です。

今や時代は人口減少社会であり、市有施設の縮減は、市民生活を安定的に継続していくために取り組まなければならない、避けて通れない道です。将来を担う次世代の負担にしないように、今から全庁一丸となつて、この課題に継続して取り組んでいきます。

その他の質問
☆(仮称)森林環境課
与税について

